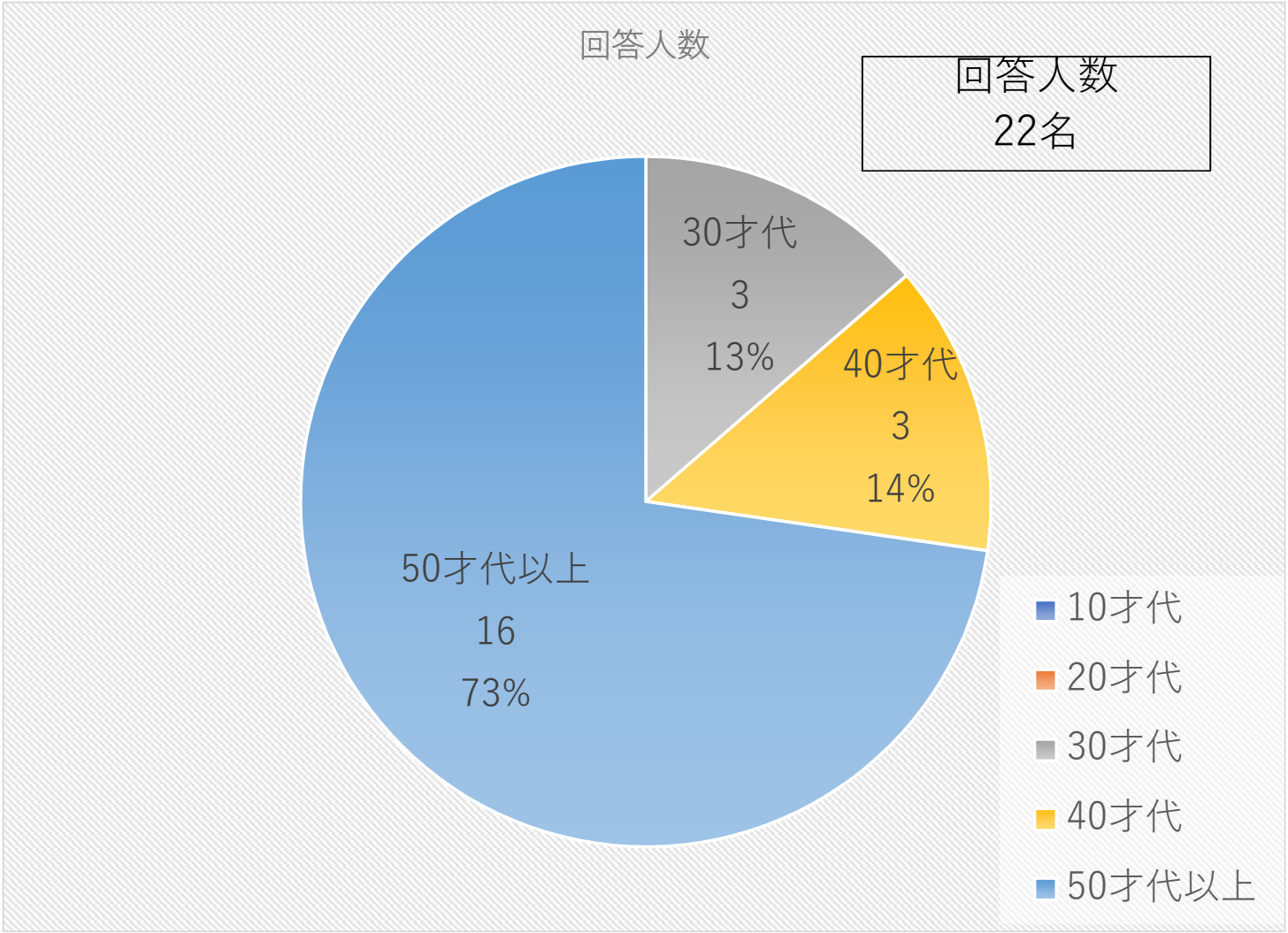
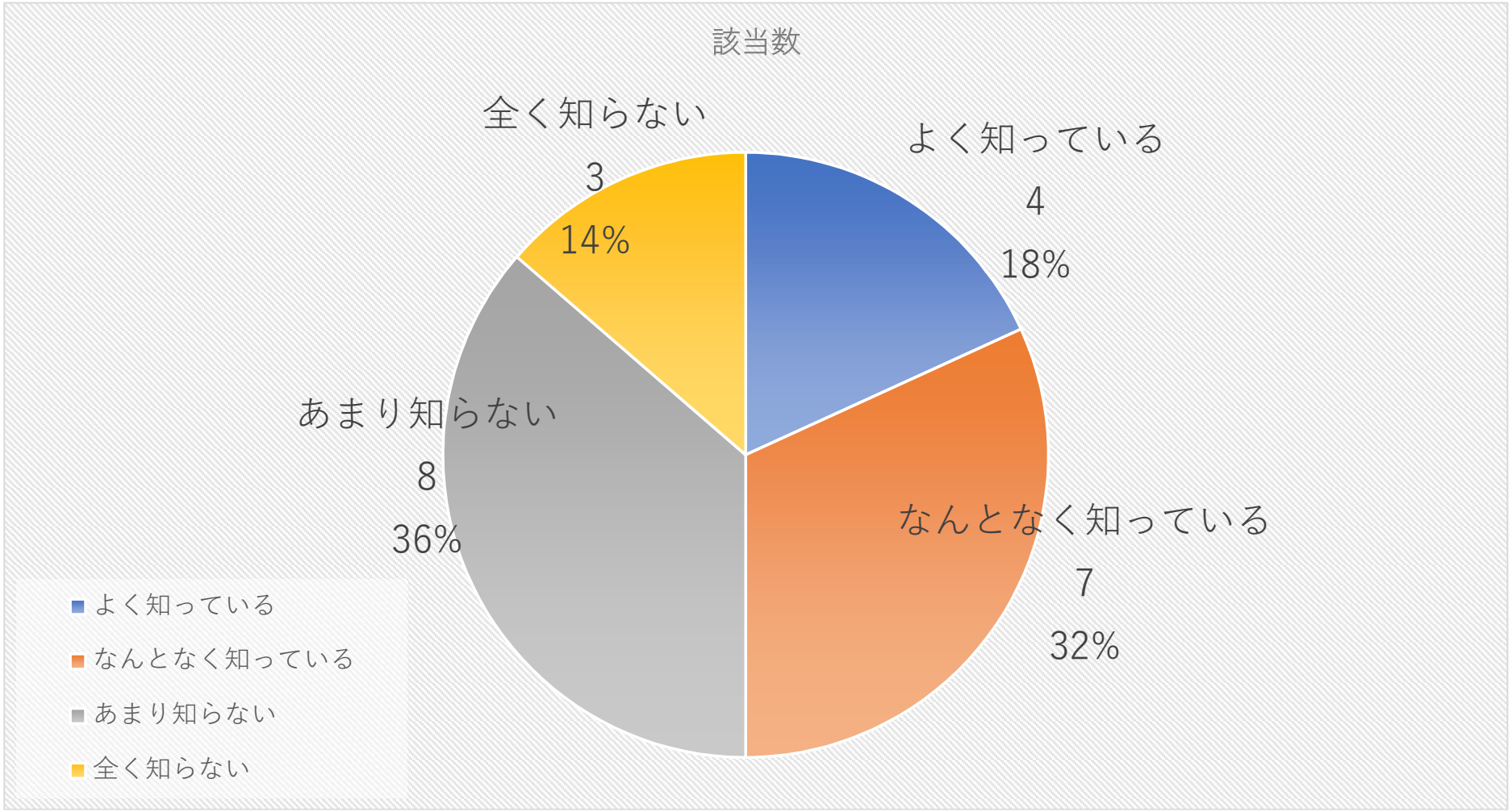
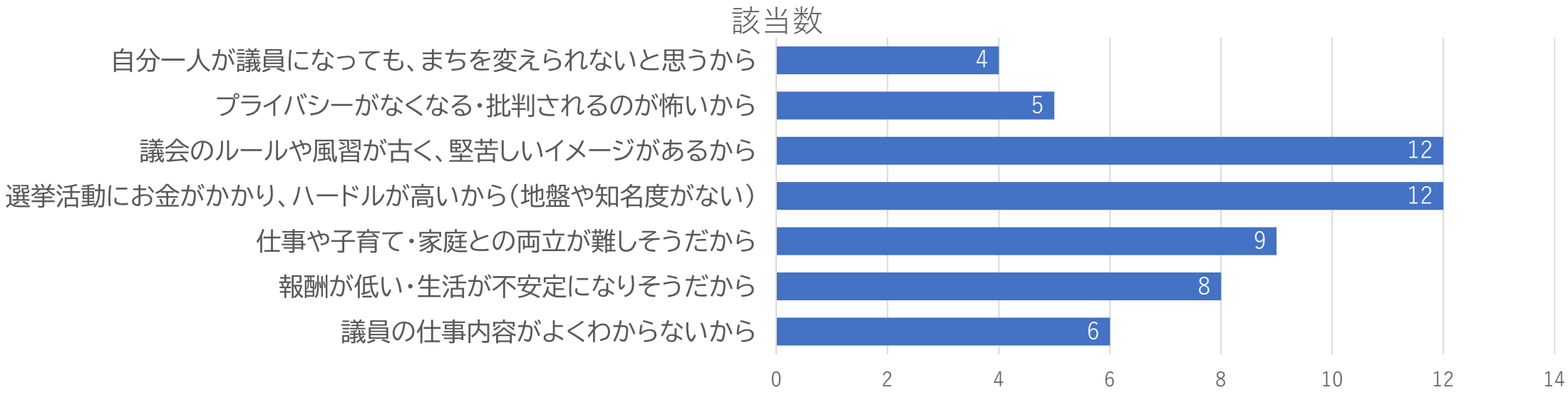
1　あなたの年代を教えてください。



２　市議会議員の仕事内容や、普段どんな活動をしているか知っていますか？



３　現在、全国的に「市議会議員に立候補する人」が減っています。若い世代が議員に立候補しない（なりたくない）最大の理由は何だと思いますか？［最大３つまで選択可］



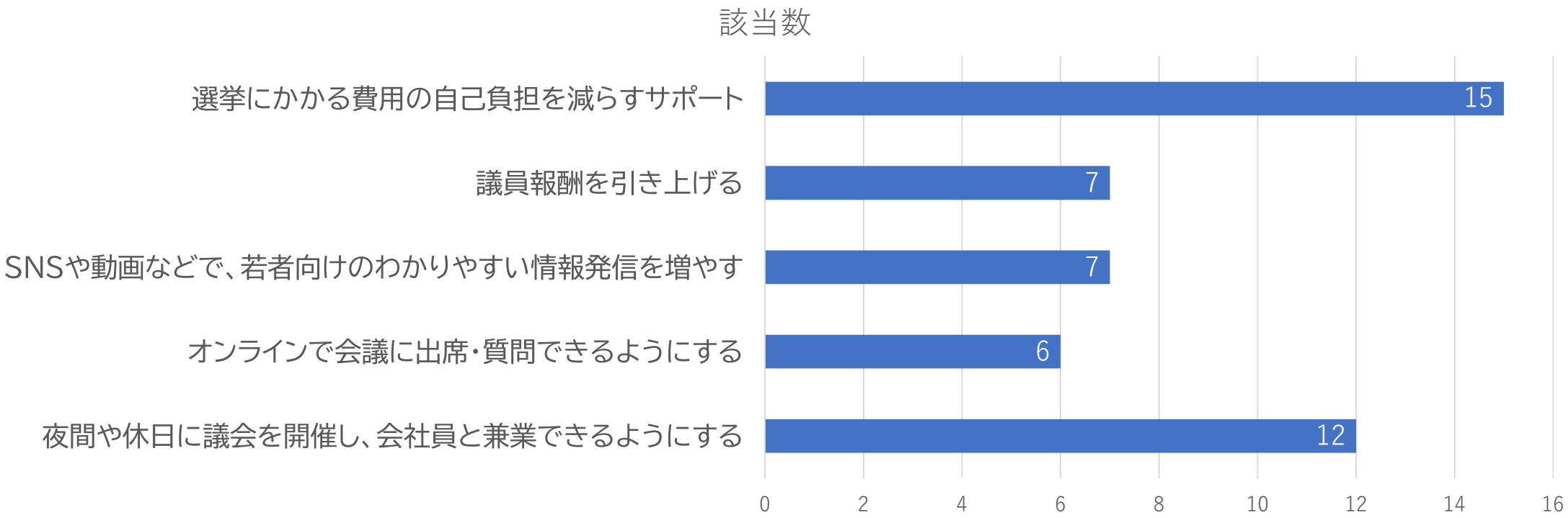
※その他の意見※

・市議会議員のつながりが希薄しているなど、市議が活動していても伝わってこない。市議の活動の必要性が伝わりません、会社の組合の活動も同じですが本当に今の市議会議員の活動は各地区の民意の総意なのか疑問です。あと、今回の市長選挙ですが、パワハラならまず第三者にエスカレートして対応をとるなど機能がないのか疑問です市議会議員が新聞やテレビに訴えるなんて、恥ずかしすぎです。そんな組織で働きたいと思いません！ある県会議員が黒部で辞めている人数は魚津と変わらないと言っていました。そんな事はもうでもいいです問題は大事な黒部の財産（人）が辞めたということを理解していないことがとても悲しいです。そんな諸先輩がやっている市政や県政に誰がなりたいと思いますか、考えたほうがいいと思いますよ、考え方が殿様です

・長年している地区の長老がやめないから

・しっかり活動したぶんだけお金がかかる。活動していない議員と報酬は同じだから。

４　どのような環境や変化があれば、「議員をやってみてもいいかも」「同世代に勧められる」と思えますか？［複数個選択可］



※その他の意見※

・50歳以下の人を増やす。

・黒部市の活性化

５　黒部市議会や、これからの黒部市に対して、率直な意見や期待することがあれば自由に記載してください。［任意記載］　①

- 報道のマイナスイメージを覆す、黒部独自の強みを活かした「日本初の議会改革」を提案します。本市はYKK等に勤める優秀な会社員が多く世帯所得が高い反面、議員も含めてあえて不安定な職に就くことはあり得ない状況です。それを裏付けるように、社会保険等への不安から近隣市町に比べ個人飲食店や自営業が圧倒的に少ないのが現状です。そこで「職を辞さずに議員ができる環境」を徹底整備します。委員会を平日夜間（当局職員は時差出勤で昼から出勤）、本会議を土日に固定し（当局職員は別日に指定休）、企業と協働して有給取得や議員休職を推進するのです。この議会改革を起点に、サラリーマンの「地域副業」を街全体へ解禁します【まちづくり副業特区】。自分の力を地域に生かしたいと思うサラリーマンは意外と多いのです。彼らの力を活かした「土日限定の飲食店や商店街出店」などリスクゼロの週末起業を促し、軌道に乗れば「本起業」へ発展する好循環を生み出します。さらに公務員も起業できる特区指定まで踏み込みます。黒部の優秀な人材の余剰エネルギーを議会とまちづくりに還流させれば、仕込みなしで『せっかくグルメ』に飛び出すような本物の名店が次々と生まれます。議会自らが黒部全体のにぎわいを牽引する。これこそが真の街づくりです。
- なり手不足なら、議員定数を減らして、少数精鋭とすればどうですか。そんなお考えは議員のみなさんにはございますか。
- 議員の仕事内容が見えない。議員数が多いのでは、現在一人欠員で去年後半からは事実上15名で活動して間に合ってるのでは？本当に活動状況が市民全体に解らない。また市民が意見・要望などお願いするアンケートなどが出来るこの様な事を2カ月に一度位やってはいかがでしょうか！
- 市民の声を市議会議員が拾うなど、民意を意識して活動してください。やっていることを広報やネットにアップするのは良いですが、興味のない人は見ません。選ばれた市議が伝えると言う義務を果たしてないことが問題です。興味を持つためには、もっと声を届けないといけません。楽をしないでください。芯のつよい市議会議員をみんなで育てて行く組織活動を考えてください
- 議員は選挙後の時しか見ない。住民との対話の機会がない。市長とのタウンミーティングは、町内会経由なので取り巻きの老人だけが参加する。情報はネットなどを駆使してほしい。市長の定例会見を市民も参加できるようにする。
- 市民のためのより良い市政をお願いします。若者にチャンスと言ったり、自分の損得のためにうごく市議は信頼できない。高校生にチャンスより、小学校の老朽化や、統廃合の計画がおくれていると見受けるので、それらにも取り組んで欲しい。
- 全辞職派閥の足の引っ張り合い。良くしようなんてさらさら感じられない。職員の疲弊とか言わる議員もおられるようですが、是非上っ面でないホスピタリティを身につけて頂きたい。今の庁舎の雰囲気では、用事があっても行きたくない。

５　黒部市議会や、これからの黒部市に対して、率直な意見や期待することがあれば自由に記載してください。［任意記載］　②

•現状のままがベスト、他の地域みたいに観光に特化する必要は無いと思います。山と海が近い特筆すべき地理がとても良いと思います。

•70歳以上の議員は、次の世代に議席を譲る自覚をもってほしい。

•特定の企業や商工会議所のメンバーとの人脈が無いと仕事にならない印象を持っています。

•黒部市議会議員に立候補したいと考えますが、富山県外在住のためなかなかハードルが高いのが実情です。生活の確保、会社との折り合い、落選時のリスクなどが課題です。議員の方と交流出来るような場を設けていただきたいです。全国的に地方都市で人口減少が進む中、各市町村は生き残りのための施策を展開している。幸いにも黒部市は知名度もあり、魅力ある地域資源（黒部峡谷、扇状地、湧水、アクアフェアリーズ）に溢れているので地域資源を活かした定住人口増加に資するような更なるプロモーションを期待します。直近では、公共交通のあり方についてとりわけ富山地方鉄道の存廃について後回しにせず、今から検討していくことを期待（というより私自身が議論したい）しています。

•議員個人の定期的な活動報告会を必須にした方が良いと思う。あまりに活動内容が見えない。

•中山間地域の環境整備（具体的には市道及び農道脇の法面の草刈り、市道及び農道脇の倒木等の可能性がある木の伐採、市道及び農道に捨てられるゴミへの対応）を黒部市が主導して対応をお願いしたい。中小企業や農林水産業、建設業等の担い手不足への対応を早急に実施しないと荒廃地の増加が大いに懸念されるので市議会でも各分野別で活発な議論をしていただくことが一つの黒部市の人口増加にも繋がるのではないでしょうか。私自身も中山間地域の農業に携わっていることより将来における担い手作りが緊急の課題でもあり日々悩んでいる状況です。実際に市会議員や市の職員の方々が現場に出向かれて現場の悲痛な声を聞いて回って下さい。

•基本的に議員定数は多すぎると思う。姉妹都市アメリカメーコンは確か人口40万人でも議員は9人でありました。昔の古い地域の代表と言う市民感覚から変えなければならないと思います。これが大変だとは思いますが、改革とはそう言うものだと思います。それと、私の経験では、一部の議員さんは国際感覚がとっても低いと感じています。また、特権意識が強い方も居られたと感じているので、定数削減してもっと競争意識を強化しなければならないと思います。足元のことばかりではなく大所高所にたった議員さんが望まれます。議員定数は減らして議員さん及び市民の意識改革が必要だと思います。一人一人の質の向上を切に望むものです。少数精鋭でやってください。

•市内循環バスの運行をいつまで続けるのですか？　新幹線開業後の検証とコスパはどうなのか、是非検討されたい。大部分の市民は疑問に思っているはずです、空気を運んでいるとしか思えない。もっと他の方法が有るのでは無いでしょか、地鉄存続問題と合わせよろしくお願いします。

•議員ともっと話したい。